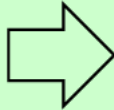


北諸県地域の茶生産振興と畑地かんがい用水を活用した茶の収量・品質向上の取組 ～有限会社アグリセンター都城 茶事業部～
(法人番号4350002015684)

経営体の概要

設立年度：平成14年
基幹作物：茶
作付面積：17.9ha
労働力：常時7名



現在：平成29年
基幹作物：茶
作付面積：152.7ha
労働力：常時38名、雇用25名

取組の経緯と経営転換のポイント等

地区の広大な農地及び遊休農地の活用を目的に、機械化体系による省力化が可能な茶の栽培を開始している。

平成26年度の通水以降、国営事業で確保された潤沢な畑地かんがい用水を活用（防霜・防除等）しつつ、農地利用集積円滑化事業を活用した土地利用集積により、設立当初の17.9haから平成30年には152.7haまで規模拡大を進めるなど、茶の生産振興に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上及び省力化

本センターでは、整備された畑地かんがい施設により、干・霜害が軽減している。県茶業支場等主催の研修会への参加、取引飲料メーカー技術員との意見交換により、栽培技術が向上している。

温度センサーと組合せた畑地かんがい施設の活用（防霜）と合わせて、摘採機や管理機・防除機等で機械化体系を確立し、省力化に繋げている。



茶の刈り取り状況



茶園での散水状況



温度センサー付き自動弁

②流通・販売の工夫

大手飲料メーカーと加工茶原料取引を締結（平成18年）することで安定した農業経営を図り、また、J-GAP認証（平成28年取得）を取得したことで安全・安心な生葉生産を実現している。

③規模拡大・土地利用調整

高齢化により年々遊休農地が増加する中、当センターがリタイアする農家の農地の受け皿となることにより、規模拡大と農地の有効利用に繋がっている。

事業概要

事業種：畑地帯水源整備事業
関係市町：都城市、三股町
受益面積：3,966ha
事業期間：昭和62年度～平成22年度
事業目的：畑地かんがい
主要工事：ダム1カ所、頭首工1カ所、導水路9.6km
ファームポンド18カ所、揚水機場7カ所
加圧機場3カ所、用水路137.1km

位置図（宮崎県）



<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
電話：096-211-9111
(内線：4773)

(平成30年度調査時点)